

農業でつながる・農業でつなぐ!! TAC (担い手) 情報

令和5年4月21日 JA福井県

JOINT ACTION

【ジョイント.アクション】 No.1

春らしい温かい季節となり、田畑では耕うん作業にトラクターが大活躍しています。間もなく、ハナエチゼンの田植えが始まり、本格的な農繁期に入ります。農作業、特に機械作業は安全第一、何かと忙しい春作業は、計画を立て時間に余裕を持って行いましょう。また、3月に開催しました、農業者大会には大勢の方に来場を頂き有難う御座いました。今回、農業者大会の開催状況と現在の麦類の生育状況について報告します。

1. 農業者大会の開催状況

3月8日、福井県産業会館で『未来へつなぐ福井の農業』をテーマに農業者大会を開催しました。JA各事業の紹介やスマート農業機械などの展示を行いました。当日の来場者数や実施しましたアンケート結果を報告します。

①来場者数 約650名(関係者を含む)

2. 来場者アンケートの結果

①研修内容の満足度

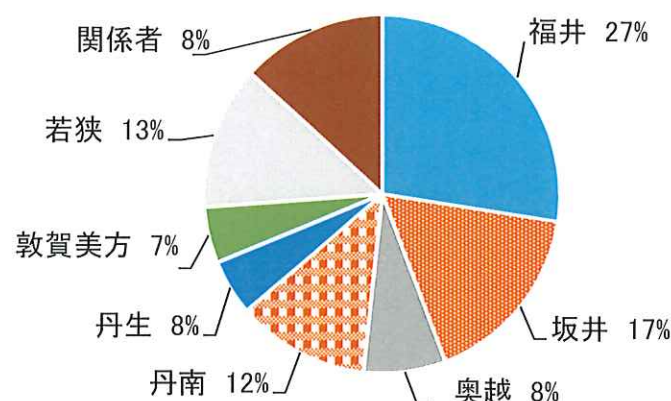


②展示内容が良かったブース

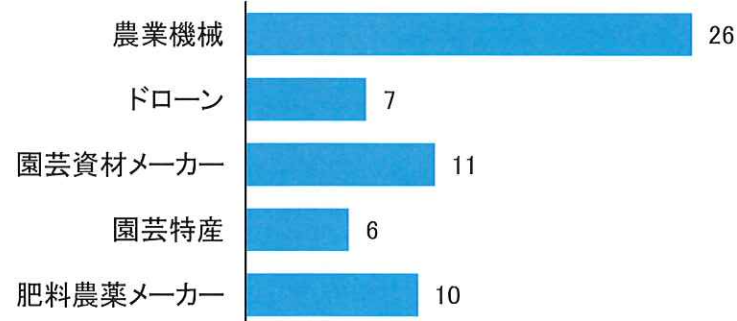


満足度が高い展示は、農機ブース(スマート農機)でした。

②地区別の参加者比



研修会の様子



③アンケートのご意見

- 米離れが進んでいるが、それを仕方ないものと捉えずに米に戻ってくる方策を探せないかな、そこを考えていただきたい。
- 高齢化が進んでいる中で、米から園芸と言われても難しい。
- リモート草刈機の展示をもっとしてほしかった。
- スマート農業に関心あり。実演の数を増やしていただきたい。
- 女性参加者が非常に少ない。開催内容の検討が必要では。
- 生産者が意欲的になる地区研修会を多く開催してほしい。

頂いた貴重なご意見は、今後の支援の参考とさせていただきます。



園芸相談ブースの様子

2. 大麦情報

JA福井県全体の麦類面積は5,016.8haです。今月、麦類の出穂状況を把握するため、営農指導員による出穂日調査を実施しました。各品種の出穂は、3月の高い気温と多照により、平年に比べ7日程度早い状況です。今後、2回目の赤カビ防除にむけて準備を進めましょう。

①R5年産麦類の作付面積

区分	品種名	面積(ha)
大麦	ファイバースノウ	3,953.1
	はねうまもち	930.8
小麦	県大3号	132.9
合計		5,016.8

②出穂期の状況(各地区)

福井地区	面積合計	1,163.5ha
品種名	面積(ha)	出穂期(平均)
ファイバースノウ	559.5	4/6 ~ 4/12
はねうまもち	471.6	4/7 ~ 4/13
小麦 県大3号	132.3	3/29 ~ 4/5

丹南地区	面積合計	486.0ha
品種名	面積(ha)	出穂期(平均)
ファイバースノウ	112.0	4/8 ~ 4/11
はねうまもち	374.1	4/10 ~ 4/12

坂井地区	面積合計	2,127.8ha
品種名	面積(ha)	出穂期(平均)
ファイバースノウ	2,127.8	4/4 ~ 4/12

奥越地区	面積合計	1,077.5ha
品種名	面積(ha)	出穂期(見込み)
ファイバースノウ	1,045.1	4/17 ~ 4/25
はねうまもち	32.4	4/24 ~

嶺南地区	面積合計	162.0ha
品種名	面積(ha)	出穂期(平均)
ファイバースノウ	108.7	4/7 ~ 4/11
はねうまもち	52.7	4/14 ~
小麦 県大3号	0.6	4/7 ~

③麦類の栽培管理ポイント

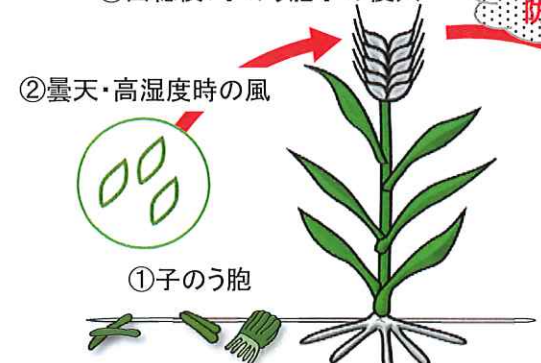
【赤カビ防除の徹底:2回防除】

麦類の赤かび病は、子実収量や品質を低下させる重要病害です。赤カビ病菌は、人畜に有害なカビ毒を産生するため、農産物検査の規格では、赤かび粒の混入限度が0.0%を超えないことと定められています。赤カビ病被害子実については、出荷・販売は不可能となるため、防除を徹底し赤カビ病発生を防止しましょう。

【赤カビ病のメカニズム】 出穂期から乳熟期にかけて、曇天・降雨が続く、気温が高いと発生します。

第1次伝染(子のう胞子)

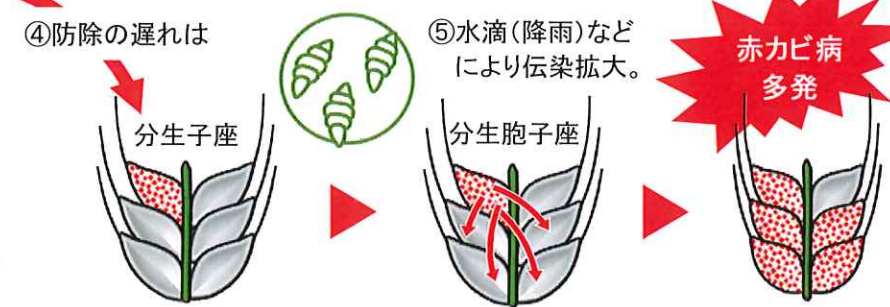
③出穂後:子のう胞子の侵入



稲株・ワラ等で子のう胞子が形成(2~3月以降)

第2次伝染(分生胞子)

* 鮭肉色(ピンク色)の分生胞子座(分生胞子の塊)が生じ、多数の分生胞子が形成される



★出穂後に降雨が続くと多発します。